

2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月9日

上場会社名 株式会社チームスピリット 上場取引所 東
 コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻島 浩司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画担当 兼 コーポレート担当 (氏名) 山下 康文 TEL 03-4577-7510
 四半期報告書提出予定日 2021年4月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績 (2020年9月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	1,421	22.6	191	48.5	195	53.1	102	79.1
2020年8月期第2四半期	1,159	-	128	-	127	-	57	-

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 103百万円 (80.9%) 2020年8月期第2四半期 57百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	6.33	6.32
2020年8月期第2四半期	3.56	3.53

(注) 当社は、2020年8月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	3,153	1,556	49.4
2020年8月期	2,810	1,445	51.4

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 1,556百万円 2020年8月期 1,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年8月期	-	0.00	-	-	-
2021年8月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,880	17.8	110	△61.5	110	△62.4	55	△78.5	3.39
	～2,930	～19.8	～140	～△51.0	～140	～△52.2	～70	～△72.6	～4.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2021年3月期の連結業績予想については、事業環境の変化による影響を鑑み、レンジ形式により開示しております。なお、連結業績予想の修正については、本日 (2021年4月9日) 公表いたしました「2021年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	16,227,600株	2020年8月期	16,195,200株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	315株	2020年8月期	276株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	16,221,578株	2020年8月期2Q	16,119,734株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理の高度化、勤務状況の可視化、経費精算等各種業務フローのデジタル化を1つのサービス内で実現し、クラウド環境を通してお客様に提供するERPのフロントウェア「TeamSpirit」並びに「TeamSpirit EX（注1）」を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、残業時間上限規制等を定めた「働き方改革関連法」（2019年4月に施行、大企業から適用開始）の中小企業への適用が2020年4月から開始されていることで、「勤怠管理」の高度化ニーズが高まりを見せています。さらに昨今、テレワーク等の多様な働き方に対応するため、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの実現を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、今後多くの企業において生産性向上に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）への取組みがさらに加速することが予想されます。特に大企業では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレース需要が高まっています。従来、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるクラウドサービスを利用したリプレースへの注目が高まっております。当社グループは、このような大企業におけるDXニーズに応えるため、一部の大企業のお客様に先行販売中であった製品「TeamSpirit WSP」を「TeamSpirit EX」に名称変更し、2021年3月1日より本格販売を開始いたしました。

このような事業環境において、主力製品であるERPのフロントウェア「TeamSpirit」の新規顧客獲得活動を進めたことにより、GB/EBU（注2）企業を中心とした新規受注は引き続き堅調に推移しました。また、カスタマーサクセスの活動を通じてお客様の「働き方改革」を支援することにより、既存顧客の解約率は低位に推移し、さらに既存のお客様からの追加受注も好調に推移したことで、契約ライセンス数は303,533ライセンス、契約社数は1,479社となりました。

新型コロナウイルスによる事業の影響については、2021年1月に首都圏を中心に緊急事態宣言が再び発令されたことに伴い、一部のお客様においては、適正人員数の見直しや採用の抑制、IT投資の延伸といった状況も見られ、2021年8月期上半期のライセンス増加ペースは期待をやや下回る着地となりました。しかし、受注環境は2020年5月に底を打ち、それ以降は堅調な推移を続けておりますので、その影響は一時的なものであると認識しております。中長期的には、働き方の多様化や大企業のDXへの取組みの加速が追い風となり「TeamSpirit」並びに「TeamSpirit EX」の需要は増加していくものと考えております。

以上の結果、当第2四半期連結累計会計期間におけるライセンス売上高は1,136百万円（前年同期比23.9%増）、プロフェッショナルサービス売上高は284百万円（同17.5%増）となり、売上高は合計で1,421百万円（同22.6%増）となりました。ライセンス売上高はGB/EBUセグメントが牽引し堅調に推移しました。プロフェッショナルサービス売上高はスポットサポートの大口案件の売上計上により前年同期比で増収となりました。営業利益は、191百万円（同48.5%増）、経常利益は連結子会社のTeamSpirit Singapore Pte. Ltd.における補助金収入があり195百万円（同53.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は102百万円（同79.1%増）となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注1)TeamSpirit EX：2018年より一部の大企業のお客様に先行導入し機能拡張を行ってきた「TeamSpirit WSP（Workforce Success Platform）」を名称変更し、2021年3月1日より本格販売を開始したクラウドサービス。EXは、Enterprise Experience、Expansion、Extend、Exceedを連想させる略語。

(注2)GB/EBU:General Business/Enterprise Business Unit の略称、契約ライセンス数が500名以上の企業を表す。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,153百万円となり、前連結会計年度末から342百万円増加しました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,790百万円となり、前連結会計年度末から343百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は362百万円となり、前連結会計年度末から1百万円減少しました。これは主に、固定資産の減価償却によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,596百万円となり、前連結会計年度末から230百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債はありません。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,556百万円となり、前連結会計年度末から111百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は2,481百万円となり、前連結会計年度末から307百万円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、299百万円(前年同期は138百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益195百万円の計上及び、受注拡大による繰延収益が142百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金はありません(前年同期は81百万円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は、7百万円(前年同期は41百万円の支出)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当該業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2021年8月期は、成長戦略の準備を完了させ攻めに転じるための1年と位置づけ、ERPのフロントウェア市場のリーダーとなるために、エンタープライズ市場（注3）及びミッド市場（注4）にフォーカスし戦略の最適化を進めております。

エンタープライズ市場に向けては、大企業のERPフロントウェア領域システムのリプレース需要を確実に捉えるため、2021年3月1日に「TeamSpirit EX」の本格販売を開始し、同市場向けのマーケティング、営業、導入サポート体制を強化し、ミッド市場に向けては、営業、導入サポート、カスタマーサクセスの体制の強化と最適化、既存プロダクト「TeamSpirit」の機能強化を進めております。

第1四半期連結累計期間の売上高は新型コロナウイルスの影響を織り込んだ当初計画に対してほぼ計画通りで着地しました。第2四半期連結累計期間の売上高については、大口のスポットサポート売上が計上できたことで概ね想定通りの着地となりましたが、ライセンス受注高に関しては、大口の追加ライセンス商談が新型コロナウイルスの影響で来年度に延伸となり、想定していた受注計画を下回りました。また、下半期に獲得を見込んでいた大口の新規ライセンス商談も大幅に長期化することが見込まれ、本年度中の計上を見込むことができなくなりました。これにより当初計画した通期売上高予想の達成が非常に困難となり、その計画を見直すことといたしました。また、費用面についても見直しを行い、一部費用を圧縮しリカバリーを図りましたが、将来の成長に不可欠な投資は当初の計画通り実行する予定であるため、通期の利益予想に関してもその計画を見直すことといたしました。

以上の結果、通期の業績予想につきましては、売上高2,880百万円～2,930百万円（前年同期比17.8～19.8%増）、営業利益110百万円～140百万円（同61.5～51.0%減）、経常利益110百万円～140百万円（同62.4～52.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益55百万円～70百万円（同78.5～72.6%減）へと修正を行っております。

下半期は営業人員を増加してエンタープライズ市場向けの営業を本格展開し、見込み案件の受注確度を高めるとともに、マーケティング活動を強化し、本年度中に獲得するARR（注5）の最大化を目指してまいります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響については引き続き注意が必要と考えております。今後さらに感染が拡大し経済への影響が深刻化した場合、当社グループの業績予想・事業計画に影響を及ぼす可能性があります。

（注3）エンタープライズ市場：従業員1,000人以上の大企業を対象とした市場

（注4）ミッド市場：従業員100～999人の中規模企業を対象とした市場

（注5）ARR：対象月の月末時点におけるライセンス契約金額の月額を12倍して算出した額であり、Annual Recurring Revenueの略

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,173,924	2,481,754
売掛金	20,971	17,379
前渡金	202,671	199,078
その他	50,105	92,885
貸倒引当金	△578	△573
流動資産合計	2,447,094	2,790,524
固定資産		
有形固定資産	76,354	64,753
無形固定資産	205	175
投資その他の資産	287,290	297,845
固定資産合計	363,849	362,773
資産合計	2,810,944	3,153,297
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,667	28,327
未払法人税等	59,005	119,039
繰延収益	1,057,031	1,199,132
賞与引当金	5,605	7,450
その他	233,124	242,428
流動負債合計	1,365,435	1,596,377
負債合計	1,365,435	1,596,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,530	802,288
資本剰余金	788,530	792,288
利益剰余金	△140,208	△37,453
自己株式	△425	△509
株主資本合計	1,446,425	1,556,613
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△916	306
その他の包括利益累計額合計	△916	306
純資産合計	1,445,509	1,556,920
負債純資産合計	2,810,944	3,153,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	1,159,323	1,421,381
売上原価	444,633	574,296
売上総利益	714,689	847,084
販売費及び一般管理費	585,807	655,750
営業利益	128,882	191,333
営業外収益		
補助金収入	-	5,475
その他	137	186
営業外収益合計	137	5,662
営業外費用		
支払利息	121	-
為替差損	936	1,537
株式交付費	341	92
その他	-	4
営業外費用合計	1,399	1,634
経常利益	127,620	195,362
特別損失		
固定資産除却損	11,220	-
特別損失合計	11,220	-
税金等調整前四半期純利益	116,400	195,362
法人税、住民税及び事業税	37,476	105,443
法人税等調整額	21,563	△12,836
法人税等合計	59,039	92,607
四半期純利益	57,360	102,755
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,360	102,755

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	57,360	102,755
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	119	1,223
その他の包括利益合計	119	1,223
四半期包括利益	57,480	103,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,480	103,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	116,400	195,362
減価償却費及びその他の償却費	7,718	14,096
貸倒引当金の増減額(△は減少)	184	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,070	1,844
受取利息及び受取配当金	△9	△11
補助金収入	-	△5,475
支払利息	121	-
株式交付費	341	92
固定資産除却損	11,220	-
売上債権の増減額(△は増加)	△14,822	3,745
前渡金の増減額(△は増加)	△29,867	3,592
前払費用の増減額(△は増加)	△16,603	△41,628
仕入債務の増減額(△は減少)	6,898	17,659
繰延収益の増減額(△は減少)	99,625	142,100
その他	7,663	8,792
小計	190,941	340,165
利息及び配当金の受取額	9	11
補助金の受取額	-	4,131
利息の支払額	△121	-
法人税等の支払額	△52,803	△45,041
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,026	299,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△82,042	-
その他	199	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,843	-
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△110,000	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	68,530	7,423
その他	△60	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,529	7,339
現金及び現金同等物に係る換算差額	325	1,223
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,978	307,829
現金及び現金同等物の期首残高	1,906,257	2,173,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,921,235	2,481,754

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。